

## 小金井市公立保育園 職員研修実績

## ➤ 看護師・保健打ち合わせ

メンバー・・・公立 5 園の保健師、担当の園長

打ち合わせ日・・・月 1 回（14 時から 17 時）

内 容・・・各園報告（感染症状況、事故報告、ヒヤリハット等）

各園の情報交換、保健指導について、事例検討、各自の研修報告  
保健業務に関するマニュアルの作成と見直し

## 研修

- 東京都主催の母子保健研修（年 12 回開催）に参加している。参加した看護師は、保健打ち合わせで、研修報告をして情報共有に努めている。
- 多摩府中保健所主催の研修に参加している。母子保健研修同様、情報を共有している。その中で、プール前講習は、プール管理に関する情報が、毎年更新してあるので、全園（5 園）で受講し、夏のプール管理に役立てている。
- 年 1 回以上保健センター保健師との情報交換。保健師より、予防接種や、検診などについての情報を得る。
- 小児保健主催の研修に参加。医師、看護師、保健師など医療関係者対象の研修のため、より専門的な内容の研修に参加している。

## ➤ 栄養士・調理員

メンバー・・・公立 5 園の栄養士、調理師、担当の園長

打ち合わせ日・・・給食打ち合わせ月 1 回（15 時 30 分から 17 時）

栄養士打ち合わせ 月 1 回（14 時から 17 時）

内 容・・・各園報告（事故報告、ヒヤリハット、アレルギー、食育報告等）、  
各園のおすすめ献立の試食会、勉強会、各園の情報交換、食  
育指導（冊子作ってみませんか）、各自の研修報告、衛生管理、放射能測  
定、災害時非常食品について、食事摂取基準について、

## 研修

- 東京都社会福祉協議会 保育部会 給食担当者講習会（年 4 回 職員課予算で参加）
- 東京都多摩府中保健所 栄養管理講習会・衛生管理講習会（月 1 回程度開催 必要な内容のものに参加）他市の栄養士との連絡会、年 1 回以上保健センター栄養士との情報交換と離乳食講習会見学

## ➤ 主査会

メンバー・・・公立 5 園の主査各 1 名

打ち合わせ日・・・年 5 回（14 時から 17 時）

- 主査会のねらい

1. 市政、福祉施策の動向や保育行政の現状等について情報交換を行い、所属園全体の共通認識とすることで保育の質的向上を目指す。

2. 勉強会、研修会を自ら企画・実施することにより、自己のみならず他の保育士の能力、技能の向上を目指す。

3. 解決すべき課題について主査としての知識経験を活かし検討を行う

<平成 23 年度>

テーマを決めて学習

6 月「人材育成」

10 月「危機管理」

12 月「問題を抱える子どもと保護者への対応」

2 月「育児支援」

その他 A・B 学習会を主導

<平成 24 年度>

6 月「事故とヒヤリハット」事例と対策

10 月「保育環境を良くするために」

各園の実践と現状

12 月「育児支援・地域支援」

その他 A・B 学習会を主導

<平成 25 年度>

「第三者評価」のフィードバック

その他 A 学習会を主導

#### ➤ 主任打ち合わせ

メンバー・・・公立 5 園の保育主任、担当の園長

打合せ日・・・年 5 回 14 時から 17 時

内 容・・・\*職員の研修希望を取り、企画する。講師依頼・進行・報告、民間園への呼びかけを担当

・全体研修…保育・保健・食育関係の内容を 3 年ごとに決める

(夜 全職員参加)

・時間内研修(日中 各園からの希望者参加)

・施設見学(日中 各園からの希望者参加)

・実技講座(日中 各園からの希望者参加)

\*各園の情報交換(当番表について、各保育園の係り分担について等)

過去 3 年間の内容

#### ☆ 平成 24 年

・全体研修・・・作業療法士 木村 順氏

「育てにくい子・発達が気になる子に対する理解と援助」

・時間内研修・・・職政策ビジョン 21 代表 安田 節子氏

「放射性物質の食べ物への影響について、今私たちにできること」

- ・見 学・・・白梅保育園「乳児の保育内容を深め充実を図る」
- ・実 技・・・カプラインストラクター 富安 智子氏  
「カプラのお遊び方・子どもへのおろし方」

◇ 平成 25 年

- ・全体研修・・・学芸大教授 大河原 美以氏  
「子どもの感情を育てるための保育園職員のかかわりについて」
- ・時間内研修・・・言語聴覚士 蒔田 篤衣氏  
「対人関係の理解力を発達的に考える」
- ・見 学・・・白梅保育園「乳児の保育内容を深め充実を図る」
- ・実 技・・・日本幼児保健体育協会 池田 意都子氏  
「幼児の体育あそびの理論と子どもへの指導方法」

◇ 平成 26 年

- ・全体研修・・・栄養科学部健康栄養学科教授 堤 ちはる氏  
「保育園全体で取り組む食育のあり方について」
- ・時間内研修・・・日本保育者支援協会 神田 富士子氏  
「1・2才児のかみつき・ひっかきの対応について」
- ・見 学・・・梅の木保育園「環境設定と子どものあそび、大人の関わり方」(予定)
- ・実 技・・・トイクリエイター 野出 正和氏  
「創作意欲を引き出す工作のヒント」(予定)

➤ 園長会

メンバー・・・公立5園の園長、子ども家庭部長、保育課長、保育課長補佐  
打ち合せ日・・・月2回（14時から17時までと13時30分から15時まで）  
内 容・・・市の情勢把握、園運営上の課題検討、情報交換

➤ 事務打ち合わせ

メンバー・・・公立5園の園長・事務主査、保育課長、保育課長補佐  
打ち合せ日・・・月1回（園長会の後15時から17時）  
内 容・・・市の情勢把握、園運営上の課題検討、  
園の行事・職員情報・子どもの状況・その他情報交換  
各園のヒヤリハット報告

➤ 時間内学習会について

A 学習会：各園2名ずつの代表（乳児クラスより選出）6,7,9,10,11,12,1,2月の8回  
B 学習会：各園2名ずつの代表（幼児クラスより選出）9,10,11,12,1,2月の6回

※今年度は正規職員減員、欠員のため体制が厳しく  
学習会を1本にし、10,11,12,1,2月の5回

メンバーは若手育成を視野に入れているため、ベテラン、中堅、若手のバランスをなるべく配慮する構成となっている。

メンバー自身のスキルアップを基本としているので、テーマの年間計画を作成する際は事前にアンケートをとり、さらに主査が様々なテーマや資料を準備し第1回目に話し合い決める。若手の日ごろの保育の悩みも気軽に出してもらい、アドバイスや情報提供を出し合い、実際の保育に役立てるテーマ作りを心がけている。

テーマの内容（具体例）

幼児：集団遊びの取り組み、懇談会について、ホールや雨の日の遊びの情報交換、行事の見直し 異年齢保育について、年間指導計画や月案の見直し など

乳児：嘔みつきについて、保育者のクラス内での役割、保護者対応、ホールや雨の日の遊びの情報交換、部屋のコーナー作り、園庭の環境設定、手作り玩具作成、わらべうた など

感想としては、同じ市の公立の保育士同士が学びあう場は共感を得ることが出来、また具体的な問題がイメージしやすくて的確なアドバイスを与えることができる。自信を無くしていた若手が悩みを共感することができ、次への取り組みの一步を踏み出すきっかけとなれる。様々な情報を交換し共有することが出来、スキルアップに繋がっている。年度最後の反省会はずいぶん「充実していて良かった。」という感想が多い。

保育主任会の研修（昼 代表者選出制、夜 全員研修）や学習会など時間内の学びの場を大切にしている。時間内学習会は予算が発生しないため、メンバーの中で具体的なテーマで学びあう機会として役割を持っている。主任会は講義による学びの役割を持っている。他、各々夏の休暇等で研修に行き学んでいる。